

現状と課題

◆県立学校のICT機器整備状況(R3)

ICT機器	整備状況
無線LAN (Wi-Fi)	全県立学校で整備済
大型提示装置	※ 高校の1人1台端末は公費7割、BYOD3割
1人1台端末	

市町村立小中学校でも1人1台端末を整備済

小中高の全てで1人1台端末環境が実現

◆学校における情報化の実態調査 (R3文科省)

ICT活用状況	岩手県	全国
統合型校務支援システム整備率	38.6%	72.3%
教員のICT活用指導力	66.5%	70.2%

◆全国学力・学習状況調査 (R3文科省)

児童生徒への質問		岩手県	全国
学校で、ICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするための程度使用していますか	小	15.4%	39.0%
	中	15.2%	34.8%

◆県立学校教員のICT活用状況 (R3.9月)

県立学校教員への質問	
授業で1人1台端末を活用している	35.6%
1人1台端末は授業で有効だと思う	88.4%
授業で大型提示装置を活用している	61.5%
大型提示装置は授業で有効だと思う	95.3%

GIGAスクール構想の加速により、Wi-Fi環境整備やICT機器の導入が進んだことから、今後はICTの効果的な活用を市町村と連携していかに推進していくかが重要

R4に向けた基本方針

- ・子ども達がICTを活用することで、学びを深め社会の変化に対応できる能力が身に付けられるよう、授業や学習活動における効果的なICT活用を推進する。
- ・全県対象の共同システムや教員サポート体制等の構築など、市町村と連携した効率的・効果的な取組を進め、本県教育全体の質の向上を図る。

R4の具体的な取組



岩手大・県立大との共同実証研究

【研究協力校 小中高7校】

R4予算:32,282千円
(R3:33,218千円)

◆大型提示装置等と1人1台端末を連動させた授業改善等

◆AIドリル等を活用した個別最適化学習

◆1人1台端末を活用したオンライン指導



【拡充のポイント】

- ・研究成果を全県に拡げるため総合教育センターの研究発表会においてICT活用促進セミナーを開催
- ・クラウドを利用したICT活用事例等の共有



全県統一の統合型校務支援システム導入



【全県統一のシステムの導入】

R4予算:1,321千円

◆R6本格導入に向けた、システムの仕様や共同調達の仕組み等を検討するWGの開催

【統合型校務支援システムの導入効果】

- ・児童生徒の成績や健康状態などのデータを一元管理でき、全県統一により、小中高が連携した質の向上が可能

データ連携



ICTを活用した健やかな体の育成



◆児童生徒の健康に関する取組

R4予算:4,167千円

への1人1台端末の活用可能性の検討

諸調査のデータを活用した学力向上

- ◆諸調査のデジタル化と検証改善サイクルの確立
- ◆訪問指導の強化

R4予算:11,851千円
(R3:11,657千円)



探究プログラムの実践

【岩手県版SSH 8校】

R4予算:15,053千円
(R3:19,993千円)

◆理数教科等での探究的な学習を重点校で実施

遠隔教育の推進 (COREハイスクール)

【県立高校 5校】

R4予算:5,391千円
(R3:14,789千円)

◆配信センター(総合教育C)からの小規模校における遠隔授業の実施



GIGAスクール運営支援センターの設置



【広域的に学校のICT活用をサポートする支援センターの設置】

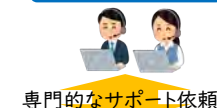
R4予算:36,718千円
(R3:10,861千円)

◆ヘルプデスクの開設とサポート対応

【支援の内容】

- ・市町村教委からのより専門的なサポート依頼への対応
- ・県立学校からのICT機器のトラブル等に関する問合せ対応等

支援センター



専門的なサポート依頼



各市町村教育委員会や県立学校等

「岩手県学校教育ICT推進協議会」を通じて市町村と連携した事業運営を実施